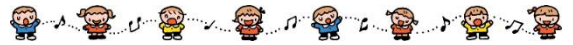


ほけんだより



令和4年11月
青梅みどり第一保育園

これからの季節、小さな子どもたちの中で流行する病気の一つに嘔吐や下痢を主症状とした胃腸炎があります。集団生活の中で嘔吐や下痢をする子がいると、あっという間にクラス内で感染します。これくらい…と
思ってしまいますが症状がある場合は必ず受診をし、症状がなくなって24時間が経ち、普段の食事が食べられることを確認してから登園するよう、ご協力をお願いします。



吐いたときは

子どもはちょっとした刺激で吐くことがあります。経過に注意し、感染症などの病気が疑われるとき、心配な様子があるときはすくに対処しましょう。

1 口をすすぐ

うがいのできる子は、口をすすいでさっぱりさせます。小さな子は、大人がコップで水を口に注ぎ、吐き出させます。



2 着替えをする

においが残っていると吐き気を誘ってしまうので、服が汚れていたら、着替えをします。



3 横になって安静にする

吐いても気分がよくなりなときは、横になって安静に過ごします。

吐いた物が気管に詰まらないように横向きにします



4 水分を補給する

吐き気が治まったら、少しずつこまめに水分をとらせます。

一度に飲むと、胃を刺激して吐いてしまうので、少量ずつ飲ませます



こんなときは病院へ



- おう吐を何度も繰り返す
- 高熱や下痢をしている
- ぐったりしている、意識がもうろうとしている
- 吐いた物に緑色の胆汁や血が混ざっている

こんなときは救急車を!

- 頭を強く打った後におう吐し、意識がない
- 脱水症状を起こしている
- けいれんを起こしている



子どもが吐いた時、原因を考えてみましょう!

- お腹を痛がる、また下痢をしていないか?
- 食べすぎや飲みすぎはなかったか?
- 吐く前に頭やお腹を打っていないか?
- 吐く前に食べたものは何だったか?
- 熱はないか?
- 身の回りで嘔吐や下痢が流行っていないか?

